

恵那農林事務所農業普及課の普及活動報告 令和5年7月

恵那の農業・農村を支える人材育成

■夏秋トマト・新規就農者

産地の未来を支える担い手の経営安定を支援

東美濃夏秋トマト生産協議会では、119名がトマトの生産に取り組んでおり、1/3が就農10年目未満と急速に世代交代が進んでいる。このため、農業普及課では、早期の経営安定に向け、技術力・経営力のある生産者の育成・支援に向けた活動を行っている。



【硝酸イオン濃度測定の様子】

本年度は研修を終えた5名が営農を開始したが、自身のほ場での初めての栽培のため、各種不安を抱えている。このため、ほ場を直接訪問することにより、各生産者に応じた指導を行っている。例えば、その時々々の生育状態を把握する方法として、生長点・葉の色等の外見上の観察に加え、葉柄汁の硝酸イオン濃度を測定することで、今後の栽培管理に役立ててもらっている。



【ほ場での指導の様子】

生産者の技術力・経営力の向上により、経営を持続していくことは重要であり、今後の大きな課題でもある。今後も、農業普及課は産地の未来を支えていく担い手の支援を続けていく。

(園芸産地支援第一係)